

RS3PSTにスタンプとテキストを合成するオプションプログラム



◆RS3PST スタンプ合成オプション製品ラインナップ

スタンプ合成するベクターフォーマットに応じて以下の製品からお選びください。

RSDWG3PST	長尺ラスター/ PostScript,PDF 変換、DWG データのスタンプ合成変換、テキスト合成変換
RSDXF3PST	長尺ラスター/ PostScript,PDF 変換、DXF データのスタンプ合成変換、テキスト合成変換
RSHP3PST	長尺ラスター/ PostScript, PDF 変換、HP-GL データのスタンプ合成変換、テキスト合成変換
RSH23PST	長尺ラスター/ PostScript, PDF 変換、HP-GL/2 データのスタンプ合成変換、テキスト合成変換

動 作環 境

- ・UNIX版 ・LINUX版
- ・UNIX 版 : Solaris9 以降(SPARC)、HP-UX11i V2 以降、AIX6.1 以降
 ・LINUX 版 : RHEL4 以降あるいはそれに相当するカーネル 2.6 以降の x86/x64 系 Linux
 ・Windows 版 : 7, 8, 8.1, 10, 11, Server 2008, Server 2008 R2, Server 2012
 - - Server 2012 R2, Server 2016, Server 2019, Server 2022, Server 2025



【RS3PST スタンプ合成オプション】 各40万円(税抜き)

RSDWG3PST/RSDXF3PST/RSHP3PST/RSH23PST



KD ラスターコンバートは、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドライン から実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込むことができます。 Windows の場合は、「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行します。

1. 属性ファイル

変換を始める前に、変換に必要な情報を属性ファイル上で設定します。

ras_in. atr · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	RASIER 人力属性ファイル
ras_out. atr · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	RASTER 出力属性ファイル
text_in.atr ·····	TEXT 入力属性ファイル
psx_out. atr · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	PostScript 出力属性ファイル
pdf_out. atr · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	PDF 出力属性ファイル
XXX_in.atr ·····	ベクター入力属性ファイル

※ ベクター入力属性ファイルは各ベクターフォーマットによって異なります。 (hpgl_in. atr/dxf_in. atr 等)

2. スタンプ合成

◆スタンプファイル合成の実行例

スタンプ合成処理は以下の手順で行います。

- ① 各入出力属性ファイルを変換したい内容に合わせて設定する。
- ② スタンプデータを作成し、各ベクターフォーマットで保存しておく。 ③ スタンプデータファイルの情報を記述した「スタンプ記述ファイル」を作成しておく。
- ④ -sm オプションで③のファイルを指定して、変換処理を実行する。

各属性ファイルの設定とスタンプ記述ファイルを作成後、以下のようにコマンドラインに入力します。

実行モジュール名 入力ファイル名 -0出力ファイル名 -SMスタンプ記述ファイル名

例: RSHP3PST の場合以下のように入力して実行します。この例ではラスターデータ in_file に stampdat1. dat と stampdat2. dat を合成し、PostScript データ out_file を出力します。 stamp. txt はスタンプ記述ファイルです。

RSHP3PST	in file	-Oout file	-SMstamp tyt
NOTIF OF OT			-JNISLAIND. LAL

スタンプ記述ファイルの内容(stamp.txt)	
##########stamp data sample####################################	
$MERGE_LOGIC = 1$	スタンプ合成方法
IN_ATR = hpgl_in.atr	スタンプ入力属性ファイルの指定
SCALE = 0.5	スケール
ROTATION = 90	回転角度
$COLOR_MODE = 0$	カラー/2 値指定
*GROUP	
$ORG_X = x1$	スタンプデータ表示位置 X
$ORG_Y = y1$	スタンプデータ表示位置 Y
COLORWIDTH = (C1=0. 1, C2=0. 2, C3=0. 3, C4=0. 4, C5=0. 4)のの一色番号を線幅に変換のないのである。
FILE_NAME= Stampdat1.dat	スタンプファイル名
*END	
*GROUP	
$ORG_X = x2$	スタンプデータ表示位置X
$ORG_Y = y2$	スタンプデータ表示位置 Y
COLORWIDTH = (C1=0. 4, C2=0. 3, C3=0. 2, C4=0. 1, C5=0. 4)のの一色番号を線幅に変換のないのである。
FILE_NAME= stampdat2.dat	スタンプファイル名
*END	

実行画面

> RSHP3PST in_file - Oout_file -SMstamp.txt Copyright(c) 1992-2001 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved. RASTER(in_file) -> PostScript(out_file)ファイル コンバータ ただいま、ファイル変換中です。

たたいよ、ファイル変換中で

RSHP3PST 変換終了

スタンプ合成された出力ファイル(out_file)

0.0) (x1, y1)	
stampdat1.datの図形	(x2, y2)
	stampdat2.datの図形
in_file	

3. テキスト合成

テキスト合成処理は以下の手順で行います。

- ① テキスト合成用の各種パラメータを記述した「テキスト入力属性データ変換パラメータファイル」 (text_in.atr)等の各入出力属性ファイルを変換したい内容に合わせて設定する。
- ② 書き込むテキストの情報を記述した「テキストデータファイル」を作成する。
- ③ -TX オプションで②のファイル名を指定して処理を実行する。

◆テキスト合成の実行例

各属性ファイルの設定とテキストデータファイルを作成後、以下のようにコマンドラインに入力します。

実行モジュール名 入力ファイル名 -0出力ファイル名 -TXテキストデータファイル名

例: RSHP3PST の場合以下のように入力して実行します。この例ではラスターデータ in_file にカーネル コンピュータシステム株式会社の文字を合成した PostScript データ out_file を出力します。 sample.txt はテキストデータファイルです。

RSHP3PST in_file -Oout_file -TXsample.txt

スタンプ記述ファイルの内容(sample.txt)

共通項目 文字高さ(単位:mm) $MOJI_HEIGHT = 6.0$ $MOJI_WIDTH = 6.0$ 文字幅(単位:mm) $MOJI_THETA = 0.0$ 文字傾き(単位:度) MERGE LOGIC = 1REPLACE モード(後書き優先) ± 出力文字 *GROUP KANJI FONT NAME=MS ゴシック 文字フォントファミリ名称指定(Windows 版のみ) $ORG_X = x1$ 表示位置 X $ORG^{T}Y = y1$ 表示位置 Y TEXT=カーネルコンピュータシステム株式会社 表示文字列 *END #-日付、時間 *GROUP DATE TIME = Y日付、時間を書き込む $MOJI_HEIGHT = 3.0$ 文字高さ(単位:mm) $MOJI_WIDTH = 2.0$ 文字幅(単位:mm) MOJI FONT NAME=Courier 文字フォントファミリ名称指定(Windows 版のみ) 日付割付書式指定 TEXT= DATE=%Y/%M/%D TIME=%h:%m:%s $PAGE_NUMBER = 0$ マルチページファイル時のページ番号指定 $ORG_X = 5.0$ $ORG_Y = 5.0$ 表示位置 X 表示位置 Y *END #-ページ出力 *GROUP $SET_PAGE_NO = Y$ 自動ページ番号割付 MOJI_HEIGHT = 3.0 MOJI_WIDTH = 2.0 文字高さ(単位:mm) 文字幅(単位:mm) POSITION NO = 5日付等の割付位置指定 PAGE START NO = 1ページ番号の割付開始ページ指定 POSITION OFFSET X = 8.0ページ番号とファイル名を割り付ける余白指定X $POSITION_OFFSET_Y = 8.0$ ページ番号とファイル名を割り付ける余白指定Y $PRINT_MODE = 0$ ページ番号の書式指定 *END

実行画面

> RSHP3PST in_file - Oout_file - Txsample.txt Copyright(c) 1992-2001 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved. RASTER(in_file) -> PostScript(out_file)ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

RSHP3PST 変換終了

テキスト合成された出力ファイル(out_file)



4. 合成情報ファイル

◆スタンプ、テキスト合成情報の記述ファイルについて

ラスター上に合成するスタンプ、テキストの情報を記述するテキストファイルです。 各パラメータを設定し、任意の名前で保存してください。変換時に保存したテキストファイルを 指定することによりスタンプ、テキスト合成をおこないます。

■ グループ定義の開始&終了を設定します。*GROUP から*END の範囲で、合成するスタンプ、テキスト情報、 表示位置などを設定します。(スタンプ、テキスト合成共通)

```
*GROUP ····· グループ定義の開始
*END ····· グループ定義の終了
```

■ スタンプデータの表示位置の設定をします。初期値は 0.0 で左上を原点(0,0)とします。 右方向がX値のプラス、下方向がY値のプラスとします。(スタンプ、テキスト合成共通)

■ 合成するスタンプファイル名称を設定します。(スタンプ合成のみ対応)
 例:FILE_NAME = testdat.plt スタンプファイルに『testdat.plt』をセット。
 絶対パスで指定してください。

FILE_NAME = XXXXXXXXXX スタンプファイル名称(パス名称も一緒に指定)

合成するテキストを設定します。(テキスト合成のみ対応) 半角 511 文字、全角 225 文字以内で設定。先頭の空白文字、TAB の指定、改行の指定は出来ません。

■ スタンプデータの合成方法を設定します。透過モード(0)または上書きモード(1)から選択します。 (スタンプ、テキスト合成共通)

 $MERGE_LOGIC = X$

■ スタンプデータのフォーマット(DXF, DWG, HP-GL, HP-GL/2 など)に対応した、属性ファイル名称を指定します。 (スタンプ合成のみ)

IN_ATR = XXXXXXXXXX スタンプデータ属性ファイル名称

- 合成するスタンプ、テキストの線幅を変更する場合に利用します。 スタンプデータ自身に線幅がある場合はコメントとしてください。(スタンプ、テキスト合成共通) COLORWIDTH = (Ci=w, Cj=w, ···)

■ 合成するスタンプデータの回転角度を設定します。設定値は、0,90,180,270 度となります。 (スタンプ合成のみ対応)

ROTATION = XXX ························回転角度。(単位:度)

■ スタンプデータを貼り付けるときのスタンプデータのカラー/モノクロを選択します。 (スタンプ合成のみ対応)

■ スタンプデータの色番号に対するカラー設定。(スタンプ合成のみ対応)

COLORRGB = (C1=r1,g1,b1, C2=r2,g2,b2, C3=r3,g3,b3,・・・Cn=yn,gn,bn) Cn : 色番号(0~255) 但し、カラーラスター出力の場合はインデックスカラー番号の 0~254 の範囲です。 (色番号 255 は白に固定) rn : 赤値 (0~1000) gn : 緑値 (0~1000) (注)内部では(0~1000)から(0~255) bn : 青値 (0~1000) に変換されて処理します。

- 制限条件: 色番号の値は 0~255 とします。(但し、カラーラスター出力時は 0~254 とします) RGB の値は 0~1000 とします。
- 入力例:例. COLORRGB = (C1=1000,0,0, C2=0,0,0) 色番号1を赤1000、緑0、青0(赤色)、色番号2を赤緑青共に0(黒色)に設定します。
- スタンプ、テキストを合成するページを指定です。 初期値: PAGE_NUMBER = 0 ですべてのページに合成します。(スタンプ、テキスト合成共通)

PAGE_NUMBER = xxxx ······ ページ番号を指定

■ スタンプ、テキストの表示位置の基準となる用紙の原点と、X 軸、Y 軸の向きを設定します。

STAMP_ORG = X(スタンプ合成) MOJI_ORG = X(テキスト合成) X:用紙の原点位置と座標軸の向き(0 ~ 3)

■ スタンプ、テキストの基準位置を設定します。

STAMP_REF = XX(スタンプ合成) MOJI_REF = XX(テキスト合成)

LU、CU、RU、LC、CC、RC、LD、CD、RD から選択します。



例:RSHP3PST を使用して <u>TIFF ファイル kdtest_2.tif</u>に <u>HP-GL ファイル sp1.hp</u>と<u>カーネルコンピュータ</u> <u>システム株式会社</u>の文字を合成した <u>PostScript ファイル kdtest_2.ps</u>を出力します。 テキストデータファイルは sample.txt、スタンプ記述ファイルは stamp.txt とします。 以下のようにコマンドラインに入力します。(-ar:自動回転、-ap:自動用紙コマンド)



stamp.txt

sample.txt



スタンプ用 HP-GL ファイル sp1.hp